

取組事例 江別市4大学と自治体連携による学生の地域定着の推進

(芦別市)

江別市内4大学の学生に対して、構成自治体(江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、栗山町、長沼町、由仁町)で提供が可能なインターンシップやボランティア、イベント、就農体験、研究課題の提案など様々な活動を提示し参加してもらうことで、大都市圏にはない可能性溢れる地域を知ってもらい、就職先や定住先として選択してもらうための体験事業を実施。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H30)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
参加学生の の人数	0人	27人	40人	67.5%

取組の推進体制

産学官等により「学生地域定着推進広域連携協議会」を設置し、江別市4大学に通う学生の活動(地域イベント参加、インターンシップ、ボランティア)や大学との共同調査研究について、地域や自治体とのマッチングを行うなど、取組を効果的に推進。

取組事例

日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプin芦別

〇元プロ野球選手が講師となり小学生4年生から6年生を対象に実技指導する野球教室の補助

- ・平成30年8月実施
述べ参加人数3人



観光検証事業

〇観光客としてモニタリングによる検証と意見交換

- ・平成30年9月実施
述べ参加人数15人



企業インターンシップ

〇3日間の短期企業インターンシップと意見交換

- ・平成31年2月実施
述べ参加人数6人



活動評価報告書(学生に対するアンケート)の結果では、「就職や進路、地域活動に対する意識は変わったか」という問いに「変わった」が前年度に比べ12%上昇しており、この地域で就職することに対して興味を持つ学生が増え、より地域定着に基づいた活動として充実してきている。